常磐毎日新聞

八月三十一日夕刊

常磐毎日新聞社
常磐毎日印刷株式會社
電話 六三〇番

天氣豫報
今晩も明日も南の風晴夕立模樣

盡忠報國の大精神を日常生活に具現せよ

平市の興亞奉公日實踐事項

物心一如の實効

（既報）平市に於ては事變の進展と共に國民精神總動員運動の强化擴充を圖り從來各般の施設の充實と實施に努めて來たが内外の情勢が愈よ緊迫を告げて來た現下の時局に鑑み此際更に市民の決意を新たにし一層盡忠報國の精神をその日常生活に具現して物心一如の實務を擧げるため内閣告諭に基き今後毎月一日を興亞記念日と定め先づ明九月の一日から實施する事となつたが市民の實踐事項としては左記の七項目が擧げられて居る

一、各戸一齊に國旗を掲揚すること

二、正午を期し感謝の默禱を捧ぐること尚戰歿將士の墓參並に墓地の清掃のこと

三、慰問文若は慰問袋の發送並に傷痍軍人及出征軍人遺家族の慰問を行のこと

四、特に早起を勵行し各自業務に精勵すること

五、服裝並食事を簡素にし禁酒禁煙を實行すること

六、家庭内の整理整頓を行ひ廢品を賣却すること

七、必ず貯蓄を實行すること

仙遞局管内に屈指の好成績

事變國債責任額突破

（既報）銃後下心强いスタートを切つた平局の第十一回支那事變國債賣出しは政府割當二萬二千三百二十五圓に對し申込みの殺到から千六百圓を追加計二萬三千九百二十五圓を三十日までに全部處分仙遞局管内屈指の好成績を擧げた、第一回以來の同局消化金額は四十九萬五千四百七十五圓で今一息で五十萬圓といふ所而も重工業の中心地帶だけに銃後における消化力には未だ〳〵餘裕あるので後五十萬、百萬の處分は極めて容易と見られ係局員達は頗る張切つてゐる

金成氏再起の動機？

俄然長者戰線に異常

貴族院の多額議員選擧は政民一對一の無競爭裡に大團圓を結ぶものと豫想されて居た處、突如郡南から現議員の金成通氏が河原田文相、宮田光雄、舊三春藩主秋田子爵、諸氏の推薦に依つて名乘りを擧げ遂に無競爭の夢は破れた、立候補の動機としては

一、現職に在る同氏に對し事前何等一言の相談なく詮衡會の當日に至り詰め腹を切らした

一、當日金成氏から諸橋氏を指名する方針であつたのを變更して同氏の指名を拒否し支部長をして指名せしめた

一、此の詮衡會の當時は病後靜養の境を脱しなかつたが其後の健診に依つて全く恢復その任に耐ゆるの確信を固めた

一、有力推薦者の出馬慫慂が明日の切迫と共に益々急である

等が數へられ遂に意を決したと傳へられて居るが

が『イヤ寢耳に水だ、再起に就いては何等の相談を受けて居ない』と對選擧戰策に忙しい筈の昨日悠然と自宅に在つて團扇片手に閑々振りを示して居た事である、而し是れも大戰前夜の靜けさで結局采配を振つて陣頭に起つのも時間の問題と觀られ刻一刻緊迫した狀勢は深刻の度を强めて居る

秋刀魚場を磐城丸が調査

縣の指導船磐城丸は九月二十一日の秋刀魚漁解禁に先立ち十五日頃秋刀魚漁場調査に出動すべく目下船体の修理を急いでゐるが同船の漁場調査は各漁船の指針となるので大いに期待をかけられてゐる

江名青年團　江名青年團では三十日小學校で改組後第一回の總會を開催した

湯本驛長突然更迭

常磐線湯本驛は石炭輸送驛として常磐線中主要驛の一つであるが現驛長平野新三郎氏は二十八日付で突然水戸運輸事務所詰となり勝田驛長早川利久氏がその後任として赴任する事となつた、早川氏は水戸驛貨物主任から勝田驛に榮轉し更に半歳にして湯本驛に拔擢されたのであると

顛カン男の創作

急所を突かれた一幕

昨三十日夜十一時半頃内郷村大字綴字榎木下地内國道脇に虫の息になつてゐる青年を通行人が發見屆出たゝめ櫻井綴駐在巡査が急行早速手當を加へ取調べると靑森市七日町日雇佐藤繁雄(二二)といひ目下好況の炭礦で働かうと當日午後八時頃平驛に下車トボ〳〵と步いて九時過ぎ前記場所にさしかゝるや突然怪漢に襲はれ急所をつかれて倒れたすきに衣類や洋服等を包んだ風呂敷と現金三圓五十錢を强奪されましたと申立たが怪しいので調べて見た處虚僞の申立であつたこと判明した

同人は空腹の上疾病の顛癇を起し倒れたものだが騷ぎが餘り大きくなつたのでそれとも言はれずついでたらめな申立をしたものである

船引場着工　江名町では永崎地内に工費三千圓を投じ今秋の底曳漁船の出動迄に完成させる豫定で船引場を建設することになり近く着工する

火藥庫の錠前を破つた怪事件！

平署が重大視して捜査陣容を强化す

二十六日未明内郷村白水磐炭礦火藥庫の錠前を破つて侵入雷管三本ダイナマイト三本、を窃取した犯人あり平署では時局柄事件を重大視し縣警察部の應援を求め三十日特高課から藤原警部補、刑事課から香内部長刑事が來郡俄然活潑な捜査陣を開始した

觀世音祭典　平市月見町觀世音の祭典は今三十一日たが出征軍人の武運長久祈願祭も執行される

暴れトラ

小川村鈴木末定(二三)は二十九日午前八時頃トラックを運轉同村關場地内を疾走中誤つて鈴木淸一さん方の板塀に激突破壞多大の損害を與へたが其際花火遊びをしてゐた鈴木澄雄君(一七)外二名は頭部其他にそれ〳〵全治三週間位の擦過傷を負つた

小名濱支局通信

小名濱電燈の變遷（三）

支局長　小野務平

▽好間川水利權は白井氏のものだつた△

二本松實業團に依つて好間川水力電氣の創立を見るに至つたのは大正四年であつたが此好間川水利權を獲得したのは磐城銀行の頭取であつた故白井博之氏であつたが今から思ふと白井氏は電氣事業の前途を輕視した傾向があつた、此より先き平市(當時町)を中心として火力發電の電燈會社磐城電力會社を計畫し共利權をも白井氏の手に依つて認可を握つて居つたものだ然るに此も郡電に讓つて此の權利も放棄したものである、そして其後に起つた好間川電力も權利を二本松實業團に讓渡して仕舞つた

これ見ようによつては事業其物に對して實行意志がなく立場の上に利權漁りに汲々したとも思ひる、磐城地方で白井氏が中心となつて磐城電燈なり好間川電力なりが實現して居つたなればあの財界恐慌時代に何んとか銀行の破産を凌ぎ得たのではないかと切齒するのは記者のみでなからうと思ふ

現に當時平市に日刊新聞の鼻祖として業界に巾をきかして居つた故土屋寛氏の主催で磐城實業界の革新運動の演說會を谷口樓の共向への共樂亭で開催した事がある其時記者は第一に電氣事業の總てを他の跳躍の儘にして置く事は磐城實業界の名折れであり少くとも白井財閥の郡下に勢威を張つて居る態勢下には餘りに人物がなさ過ぎる、電力事業の將來を餘りに見透しのつかぬ管見的爲され方であると陰に白井氏の利權漁りを痛論した事がある

處が當時微々たる今もそうだが記者の立場からこの痛論は全くの攻擊の巨彈であつて白井氏は小野賢司翁を通じて共痛論の當らざるを詰つて來た事が今猶腦裡にチヤンとコビついて居る今日から思ふと白井氏にして少くとも好間川水利權だけでも電力會社の實現を圖つて居つたなれば當時の利權讓渡して權利金が三千円位だと傳つたのであるが共幾百倍となつて働きかけたかを充分想像し得るのであつて、そこには目前の利に走つて遠大の見透しには餘りに近眼者流であつた事を遺憾に思ふのである

こう云ふ經緯から二本松實業團は好間川の水利權を白井氏から引受けて資本金三十萬圓で創立を見たのであるが共配給區域は即ち小名濱電燈會社の區域にあらざれば共發展の可能性がない爲めに小名濱電燈との交涉となつたもので玆に栗原尊務の活躍となるのであるが栗原君のこの活躍こそ今日の基礎を築く第一步であつたのである

好間川電力は大正四年に發電所の建設に着工し第六年に完成して居る、そこで栗原君の折衝となつたが退陣の準備なつた栗原君は其條件も却つて强靱で五萬圓の資本中二萬五千圓拂込であるから一株五十圓に對して二十五圓拂込みである、これを一株百七十五圓に買收せよと云ふのである、更に持株一株十二圓五十錢のものを受付せしめようと云ふのであるから二十五圓拂込みが一株十二圓五十錢で好間川水力電氣株式に替り百七十五圓を配當されると云ふ利得が一千株に配當されるのである

その上栗原君は平ガス會社とのコークス賣買契約の損害金と隱退料とで不言實行の報酬として當時幾萬かを懷中に轉ろげ込むだものである

（未完）

戰病死公電

錦村上中田出身辻村部隊齋藤勝一二等兵は八月二十一日〇〇陸軍病院で腹膜炎により戰病死された旨この程留守宅に公電あつた家人は父政吉さん(五〇)母ハルさん(四八)姉初枝さん(二五)と弟妹萩野さん(一九)良二君(一八)五郎君(一三)イソエさん(九)二三二君(五)がある

二百十日は御心配無用

小名濱測候所發表

波打つ瑞穗田圃に心配な九月二日の二百十日、小名濱測候所の打診を聞くと田代技師はこう答へた

『本年位颱風の續發する年は珍らしい、琉球の南東島附近と小笠原八丈島中間に競爭的に颱風が現はれたが運の能い事には大東島方面は北々西に進行して支那大陸に向つて發達、八丈島のものは陸上近くになると共勢力を減殺されるので大時化は何時も免れ全く天祐と云ふより外にない、現在も八丈島附近に颱風性の低氣壓が發動して居るが發達しさうもない處を見ると殆ど心配にならない樣であるから二百十日は太鼓判を押して無事晴天間違ひなしである

戰病傷歸還兵

けふ座談會

既報、縣主催の平市と石城郡出身戰病傷歸還兵の座談會は今三十一日植田小學校講堂で開催白衣の勇士達を圍んで衷心から感謝を捧げ慰めたが終つて各町村長その他が「戰病傷兵に對する感謝方法を」協議した後阿部縣圖書館長の講演があつた

貯金係りの第六感

詐欺漢捕る

四倉町生れ目下住所不定長谷川重太郎(四二)は三十日午前十一時頃盜んだ貯金通帳で植田郵便局から三十圓を拂戻し騙取したが貯金係りの齋藤みよさん(二三)が不審に思ひ植田署に急報した結果間もなく逮捕された、引續き餘罪取調べ中である

盆にも水揚

小名濱魚市場便り

漁場地としては正月と盆には御幣を擔いで休業神佛に一年中の無事息災を祈願するの習慣であるが戰時態制下に在つては盆も正月もなく燒津、釜石、氣仙沼の方面の鰹船が相次いで寄港水揚げして居る二十八日以來今朝までに酢や廻船淸壽丸一萬二千尾十文から十四文の高値三十日一萬三千尾稻荷丸十文から十三文、三十一日朝一萬二千尾豐丸十文から十二文と云ふ何れも高値みで舊盆中の食膳を賑はして居る、三十一日ら地船の出漁もあり活氣を呈するものと見られて居る

炭拾ひ婆さん奇禍

湯本町字八仙無職橋本トメヨ(六三)婆さんは二十九日午前五時半頃入山炭礦第六坑ズリ捨場で炭拾ひ中頭上に岩石が落下重傷を負ひ手當を加へたが間もなく死亡した

手付金詐欺

川部村江藤炭礦發送係主任川朝七(三九)は本年二月以來手付金詐欺を働いてゐたこと發覺三十日植田署に檢擧されたが被害額は二千圓以上の見込みである

水道管督促

小名濱町水道委員は上水道鐵管製作速進並に内務省に對する鐵管殘數配給督促のため三十日上京した

平市人事

◉出生

△鍛冶町一四髙野眞氏二女恭子さん

△道匠小路一四坪井粂治氏四女喜久子さん

◉死亡

△鷹匠町六桶氏三男渡邊武君(三)

ラヂオ

今晩の部

▽後六、〇〇 子供の時間「世界唱歌名曲集」BKコドモ唱歌隊

▽後六、二五 講演「軍事郵便に就て」仙臺遞信局監督課長中澤勝次郎

▽後七、三〇 特別講演「郵便年金の改正に就いて」遞信省管理局長山田良秀

▽後七、四〇 俚謠、富山縣東礪波郡平村有志

▽後八、〇〇 リポート演藝「部隊長のメモより拾ひて」一〇BK文藝課編田中賢司

▽後八、三〇 詩吟「弔出征將士之戰死」ほか大廊博之

▽後八、四〇 時局談話「時局生活を語る座談會」司會内閣情報部長横光外

明日の部

▽前六、三〇 興亞奉公日講話 文部大臣

▽前七、〇一 朝の修養談「國體の生活刷新體驗」(一)長野縣浦里村々長宮下周

▽前九、四五 幼兒の時間 管絃樂、大阪ラヂオオーケストラ

▽前一〇、一〇 家庭の時間「子供を强く育てませう」兒玉九十

▽後〇、〇〇 默禱の時間(外地放送)

▽後〇、〇 六合唱、合唱アイラコール伴奏野村藤江

▽後三、〇〇 婦人の時間「興亞奉公日と婦人」市川房枝

▽後四、三〇 精動特報「興亞奉公日に於ける實況」内閣情報部書記官 山口泉

▽後六、〇〇 子供の時間、お話とうたお話、伯爵二荒芳德、歌、東京市青南尋常小學校兒童

▽後六、二五 講演「興亞奉公日に際して」宮城縣知事戸塚九一郎

▽後七、三〇 國民歌謠

▽後七、四〇 (上海より)講演「興亞奉公日に際して」上海總領事三浦義秋

▽後八、〇〇 吹奏樂星稜吹奏樂團、指揮辻順治

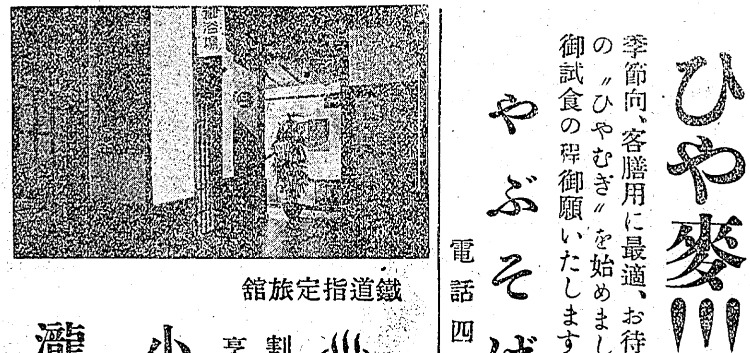
▽後八、三〇 浪花節「長城の嵐」東家樂燕

▽後九、〇一 時事解說

…お買物なら
在庫品豐富な…
平市田町
銀座通り
玉屋洋品店
電話六五六番

高久病院
院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科
平市田町　電話五一三番
──◎看護婦至急募集──

食通好みの……
フルーツ入
ひや麥!!!
季節向、客膳用に最適、お待兼の"ひやむぎ"を始めました
御試食の程御願いたします。
やぶそば
電話四番



鐵道指定旅館
♨ 割烹 小瀧
小名濱電話一〇三番

專門
花柳病科
婦人科
產科
▽入院隨意
井坂醫院
平市田町　電話五五九番

戰國間諜傳

大井沢龍作　山科一郎畫

第六十三回　脱出（三）

五月の空に燃え狂る敵味方の喚聲、矢彈の銃音、燒け落ちる物音落下する火の粉を浴びながら逃げ惑ふ人の群、主を失つた戰場の馳け廻る音、血潮に染まつた負傷者の灰色の顔それは人生滅亡の日の地獄圖である。

それが今、秀頼の眼前に、厳然たる事實となつて現れて來たのである。

彼は何時の日にか斯かる運命に遭遇するあらうことを近年になつて、おぼろ氣ながら感じはしてゐた。そして、さうした運命に直面した時、その武士らしい最後を遂げて、立派な態度を示さうとの覺悟もあつた。然し今それすらも自由に出來得ぬ狀であることを悟らねばならないのであつた。自分であつて自分でない——それは現[illegible]の敵には捕へられぬ憎みである。

この間にも城の內外には、いろ〳〵な悲劇が、展開されてゐた。

[illegible]行部川左近は、金の瓢の馬印を千疊敷の床柱に縛りて、

「この旗印を敵に分捕れては[illegible]の恥辱となります故、謹んで玆に[illegible]申上げます」

と言つて、其場で割腹してしまつた。

また秀頼の親兵ともいふべき七手組の隊々は[illegible]に破れた者が血路を開いて、やつと城中近く引揚げて來たが、城内の火の手は熾烈を極めてゐるので中へ入ることが出來ず石垣の上に登つて自殺して果てる勇士もあるといふ有樣。又一方の大將であつた大野道犬や仙石宗也などは戰亂の中から行方不明となつてしまつたりした。

淀殿と千姫は近習や侍女達を連れて、本丸の天守閣へ身を避けたが、既に防ぐ術のないことは明白なので自害しやうとしたのを、早水甲斐守が押止めて、天守閣の月見櫓から[illegible]に移した、[illegible]に兵營の[illegible]、何卒今暫らく[illegible]されるやう、それがし[illegible]いふこともありますれば」

と、しきりに云ふ[illegible]の言葉に從つたのである。

この櫓は、火からやゝ遠去かつてゐて安全な場所である。櫓の中は二間に五間の廣さがあるので、此櫓を三間に仕切り、一間を秀頼に、次を淀君と千姫に、もう一間を侍女達の室に宛た。

秀頼の側には、大野修理、速水甲斐守、其他に小姓七八人、侍女達はお蝶の方、玉の局を始め[illegible]立つた人達、その他に女中が五六人といふ人數である。

淀君は、千姫を自分の側近く引きつけて固く[illegible]に監視してゐる。そして彼女の着てゐる振袖の長い片袖を自分の膝下に敷いて、其處から立つこととすら出來ないといふ有樣。

淀君の心では、この千姫は憎い敵の血統につながる者であるから自分が死ぬ時は無論あの世へ道連れにしてやらう、もうその時が目前に迫つてゐる、さう思つて[illegible]に[illegible]してゐるのであらう、けれども[illegible]では、さうは見てゐない、千姫を利用して、家康に命乞ひをする腹で、その人質にしたのだと思つてゐる。

然しそれは曲解であることが後で解つた。といふのは、士卒に[illegible]つてから自殺するまでの時間で、充分察しられるからである。

又、千姫にも淀君や良人を[illegible]して城を逃げ出し、家康の許へ走る[illegible]があつたとも思はれない、世にも[illegible]い女心だ、只おど〳〵と慄へてゐた位なとと見るのが至當であらう。

後に岡山の陣所に送還されるやうになつてから、父秀忠が[illegible]

「不所存者奴、[illegible]より何故、秀頼と共に生害せぬのぢや」

と言つたのを人傳に聞き、何も云はずに泣き出したといふのから見ても、只運命のまゝに敗將の[illegible]となつた彼女の哀れなの姿が察しられる。

彼女の付人として[illegible]から乘り込んで來た[illegible]が控へてゐる以上、千姫を[illegible]させることは出來ないと考へた。

―家庭知識―

一、一家そろつて新調廢止、買つたつもりで貯蓄せよ
二、もつてゐる木綿織物大切に
三、古布も使ひ方では新製品
四、毛織物保存法にはめばりして防虫劑を忘れるな

母性の貧困

阿部靜枝

父母の愛は限りなく深い故に孝たるべく孝は忠につづいて大成すると云ふ忠孝一本の日本精神が實現せられつゝある今日、母はまづ限りなく深い愛を用意せねばならない。

云ふまでもなく母道の大方は、子のため自己を滅却し、あらゆる犠牲をいとはない、これが母性愛の發現と見られてゐた。子供さへあればとひたすらにわが子への愛にすがりつき、夫の興味や愛から遠ざかることも甘受した母達もゐる。

しかしそれは母の生活を孤立せしめず、子の生活の中に限貧ふ結果となり、限りなく深かるべき愛情が、子供の成長獨立と共に底がつかへて、今度は母の愛の認識と母個人への報恩を求めるやうになるのではあるまいか。人事調停法が受けもたうとしてゐる骨肉の爭ひや子供の扶養者との紛爭は、右のやうな心情からおこるのではないかと思はれる。これは百行の基となり忠と合致するには、いさゝかひくい孝の求め方である。

子供のゆえに生きてゐる。その行末だけがたよりであるといふ言葉は、深い愛は現すに似ながら、實は母性の貧困を暴露し愛情の限度を示してゐる。限りない愛は、母自身がその獨立した精神の中で常に新しく醗成してゐなければならない。

夫を愛し、夫に愛される豐かな情操や、社會と接觸し有用に働いてゐる新鮮な氣持ちが源泉となつて自然にわく愛は我子に最も深くしかも我が子一人を對象とする本能的なものでなく代償を思はず樂んで與へ得るものであらう。

だからおうやうに、母を離れる子の獨立を認め正しくさへあれば、その愛する者を愛さしめ、ゆく所にゆかしめて悦び等失ふ氣もちはないのである。却て子の精神と行動を母の内に包含するので、國家への奉仕を喜びその忠と孝として感得することが出來るものと思ふ。

雇人の入營は主人の名譽です

親代りを努める某主人

雇人は我子の氣持ちで育て、そして指導して行つてこそ初めて立派な雇人も生れ、店の繁昌もあるといふものだ、一雇人として自分の手許で働いて貰ふやうになつた以上親身で親代りになつて雇人の面倒を見てやらねばならぬとしてゐる平市の某飲食店主の例。この店では從業その他雇人に對しては出來得る限りの待遇をして雇人と氣持ちよく働いて行くことを主義としてゐるのであるが更に雇人が入營する場合これは自分の店の名譽であるといふので、ぜひ自分の店から出て貰ふことにしてゐる。そのためには勿論費用の負擔は全部店主がもつことにしてをり、なほ入營の日は店を休業にして全店を擧げてその雇人の門出を祝ふことにしてゐるといふ。入營は男子の面目であり、又店の名譽である一旦自分が親となつた氣もちで育てた雇人の入營のためには親にかはつてその門出を祝してやるのは店主の義務だとの氣もちを主人は抱いてゐるのであるが、これは却々出來ぬことである、しかも店の繁盛を一日休んでまでも雇人の入營を祝ふといふこの主人の態度はまことに立派なものであり、この主人のもとにあつてこそ、雇人は意を安んじて自分の一生を託せるといふものである

子供の時代から育てた一人の雇人が入營する場合には誰でもこれ位のことはするのが人情でもある、然しこの主人の場合二人の雇人をすでに送り、今後廿人近くの雇人の中から何人の入營者があつても常にこの氣もちで臨むといつてゐるがこの主人の態度には銃後國民として學ぶべきものがあらう

汗シミの除り方

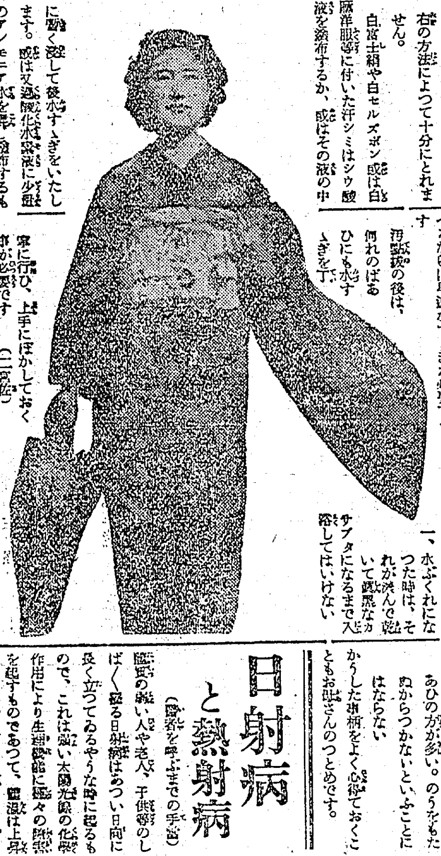
外出先から歸つたら時を移さず手入せよ

外出中お召物や洋服類に付いた汗シミは、歸宅の後、早速十分固くしぼつた清潔な手拭で、一樣にふき去るか、或は又、アンモニヤ水三、アルコール三、水四の割に混合した液を噴霧器に入れてシミの部分に吹き付けて後、右と同樣の方法によつて一樣に拭けば比較的容易にとれます。

然し古くなつた汚點は

右の方法によつて十分にとれません。白富士絹や白セルズボン或は白麻洋服等に付いた汗シミはシウ酸液を塗布するか、或はその液の中に暫く浸して後水すゝぎをいたします。或は又過酸化水素液に少量のアンモニア水を混じ塗布するもよろしい。明石や銘仙絹等のお召物に附着した汗シミは、右の方法に依りますと、地色迄消えますから、さく酸或は濃いクエン酸液を塗布して暫くおき後水濯ぎをします。夏の洋服類の肩や膝等が汗焼けして黄ばんだ場合はごくうすい過酸化水素液を塗布します。この場合に洋服の地色の變化に注意し地色が消える樣に思へるならば早速水濯ぎを行はなければなりません。白地の夏帶に付いた汗シミは極くうすいしう酸液を塗布いたします。この場合にも地色の消える樣に思へるならば早速水すゝぎが必要です

汚點拔の後は、何れのばあひにも水すゝぎを丁寧に行ひ、上手にぼかしておく事が必要です（二宮佐）



主婦を惱ませるカラー　ワイシャツの洗濯

だがこんな秘訣がある

夏のカラー、ワイシャツはいつも清潔でありたいものです、厄介な樣でその處理は奥樣泣かせのものですが然し順序をふめば家庭でも立派にできます。カラーの五分間仕上げとワイシャツの仕上げ方を御紹介しませう

○……カラーは非常によごれてゐたら石鹸洗ひにしますが、さもなければ、洗ひをします、もんだりこすつたりせずにぜひ板の上で石鹸をつけハケ洗ひにします

あらつたら、よく水でゆすぎます、この際もハケあらひでよく石鹸氣を除きますゆすぎ上つたらぬれてゐる中に生ノリをつけます、生ノリは、一合の水に對し一にぎりのコンスターチ或はしようふをとかしいれますと白濁液となります

その中に、カラーにその液がよくしみ込む樣にもみこみましたら、板上にとり兩面とも餘分の水分とのりをこすり落します、次に乾いた布でこじわをとりながらふきます。この上に熱いアイロンをかけますとクリーニングに出したと同じ樣に仕上ります

○……ワイシャツはやはり石鹸でハケ洗ひをし、よく濯いで一旦乾かし、糊つけは襟カフスだけに煮たのりをつける。一合の水に對し茶さじ三杯位のコンスターチをいれて煮て、この中にカフスだけいれもみこみ、餘分ののりはこすりとり再び乾かし、襟の開きと襟をつまみ上げ、その部分に今度はなまノリをつけ、襟そでをならべおき、固く巻き込んで二時間位放置しておきますと、のりが全部にゆき渡ります

次にアイロン仕あげ、シャツは脊から二つ折りとしそでを揃えてたゝみ、かさねたまゝそのうへから第一にカフスをのこしそでにかけます、うへがかけをわつたらめくつて下のそでにかけ次に反對側をかけます

○……次にカフスの内側をかけ、それから外側をかけます、次に脊をかけ、襟の内側から外側、兩襟の時は外側から内側へ、かたをかけ左胸、右胸の順序で、最後に裾をかけて出來あがります

アイロンをかける時は常に同じ方向に、なまかわきですからとめずにかける事が肝要です（二宮佐氏談）

日射病と熱射病

（醫者を呼ぶまでの手當）

體質の弱い人や老人、子供等のしば／＼起る日射病はあつい日向に長く立つてゐるやうな時に起るもので、これは強い太陽光線の化學作用により生理機能に種々の障害を起すものであつて、體温は上昇し、顔や眼は赤く充血し、頭痛、めまひ、はき氣等を起し甚だしき時は卒倒します。

○……之と症状が非常に似てゐるものに熱射病があります。これは換氣のわるい、蒸しあつい密閉した室などに多人數集合してゐるやうなばあひに起るもので、水蒸氣の發散が妨げられ、體温の調節が出來なくなつて著るしく體温が上昇しておこるのです。

手當　之等の症状を起した場合には、直に病者を日影の風通しのよい涼しい所にうつして靜かに臥さしめ、衣服を解いて胸部等をゆるやかにし、氷のう、氷枕等で頭部を冷やし、一杯の冷水を與へるのがよろしい、又汗が出てゐれば冷水で「タオル」しぼつてふくのがよい。

赤ちやんは斯うして育てるもの

種痘のあと

これが母親の心得

實にどうもよくついた種痘です。メスでも觸れたのか、痕跡にも膿泡が一つ飛火してゐます。

一、種痘をうけた日は入浴せぬ事

翌日から四日目位までは入浴して湯につけてもいゝが、ただこすらぬやうにする。

一、入浴後にはシツカロール、ボアール等の粉末をふつておく

一、身體をふくこと、熱が出たなら頭を冷やすことなどは差し支ない

一、引かいたりして痂がつぶれたならマーキユロームのやうな消毒劑を塗つて、あとの手當は醫者にたのむこと

一、水ぶくれになつた時は、それが汚んで乾いて黒なカサブタになるまで入浴してはいけない

一、第二期種痘はのうをもたぬばあひの方が多い。のうをもたぬからつかないといふことにはならない

かうした事柄をよく心得ておくこともお母さんのつとめです。

肉汁の味

蛋白質は一般に熱を加へると凝固蛋白と變り、いくらか不消化になりますが、卵白のやうなものは生のときよりも半熟に加熱した方が消化しやすいのです。獸や魚の肉を沸騰した湯汁の中にいれたり、熱したフライパンに脂肪をとかして急にいためる方法は、表面の蛋白を凝固させて、内部の肉汁のとけだすのをふせぐため肉の味がおいしくなります

反對にスープをとるときは肉を冷たいところから徐々にとろ火で煮、肉汁のとけだす量を多くすればおいしいスープができます（醫學博士有本邦太郎氏）

大陸行進譜
大川兵五 作
長山球英 畫

第百十八回

母の心（10）

杉江未亡人は、毎日宿に電話をしたが、なか／＼出て來なかつた。

「今日も來られないんですつて……」

奥佐子が讀書をしてゐると、杉江はションボリと歸つて來て云つた。

「さう……」

同情したやうな口調ではあるが、奥佐子には何の興味もないらしく、默々と本を讀みつゞけるのであつた。

風もなく、あたゝかい陽が山の斜面に一杯照つて、浴客は三々五々、野に山に出て外氣を心ゆくまで吸つてゐた。

山の雪も、一日毎に消へて行くやうに思はれた。川の岸には、枯草の下から名も知れぬ水草が、可愛らしい二葉を差しのべ太陽の方に伸つてようとびの感激をさゝげてゐるのであつた。

杉江と奥佐子は、脊中にほかほかと陽をうけながら、川岸を上つて行つた。すき透つた川の水が、音もなく、すい／＼と流れてゐた。魚の影は見えないが、流れにそつて芽をふいた水草によつて、この山地にも春の訪れたことを知つた。

「お母さーん、お母さーん！」

二人が足を止めてふりかへると宿の娘の、女學生が、顔をまつ赤にして、とんで來てゐた。

「お姉さん、お兄さんがお見えになりました。」

「……」

奥佐子は默つて答へなかつた。

「さうそれは御苦勞さまでした」

杉江は、奥佐子の方をチラとのぞいてから、答へた。

「では奥佐子さん、歸りませう」

「……」

奥佐子は默つてうなづいた。宿の女學生は、けげんな顔をして、二人を見くらべてゐた。

（お母さんが、お姉さんに知らしていらつしやい。と、云つたのに、お姉さんは、どうして默つて、怒つた樣な顔をしてゐるのだらう）

宿の人々は、新婚の夫婦の、案内役で、お母さんの杉江未亡人が來てるのだとばかり思つてゐた。

「美しいお姉さん」

宿の娘の子たちは、奥佐子のことをさう呼んでゐた。浴客たちも隣室に來ては

「あの美しい女の方は、娘さんかね」

と、口うるさく聞くのであつた。

「旦那さまですよッ！」

愛嬌のよいお母さんは、冗談半分に、浴客を笑はせたり、よろこばせたりするのであつた。

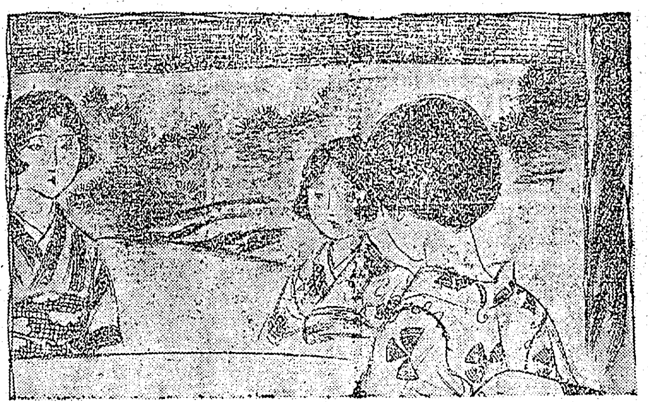
色の淺黒い國民服がグツと引しまつて、如何にも男らしい政一が女中さんに案内されて奥の間に行くと、お母さんは、そこらにボンヤリ立つてゐる浴客を呼びよせて右手を目のところに持つて來てしきりと小指と親指とを出して見せてゐた。

奥佐子の主人が來たと、みんなに合圖をしたのである。

「うーん、なか／＼立派な男だな」

「あんないゝ女と、いゝ男と一緒になつたら、どんな赤ん坊が生れるだんべ」

そんなことを云つて、みんなを笑はせる物好きの男もあつた。そこへ呼びに行つた娘が飛びこんで來た。みんなは、顔を見合せて、自分々々の部屋にかけこんだ。



芳醇！　美味！
たひら正宗
山崎合名會社　電話一〇番

花柳病科外科
木村外科醫院
平市南町（警察署通り角）電話三〇九番

（夜間診療）
胃腸　性病　專門
内科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
松村胃腸性病醫院
平市南町（電話一〇七番）

開院
歯科全般　口腔外科　歯列矯正
平郵便局ウラ通り
平市南町四十五
鈴木歯科醫院
東京歯科醫學士　鈴木與一郎

御料理
◎……出前迅速
"むぎとろ"
是非!!御試食下さい。……
平市田町紅小路
さつき
電話四八八番

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
和洋結髪
オゾン美顔術
御染港洗毛
御爪美術
◎御婚禮用の"かつら"も御座います。
平市驛前
水野化粧院
電話六七八（營業所）五二五（自宅）

病室增築、手術室完備
醫學博士
産科　婦人科
五十嵐雄二
平市新川町　電話三六九番

喜多流謡曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時
平市田町六九
喜多流謡曲仕舞　白土會
電話一二七番

◎女車掌（三名至急募集）
1、未經驗者ニ限ル
2、委細面談
3、優遇ス
平市二丁目
三井タクシー
電六八五番

提灯と國旗
平四丁目
スワヤ

メガネは！
平市二丁目
玉屋

カメラと用品
現像引受
お用命は
西村屋藥局寫眞部
平２・電３

外科一般　レントゲン科
内臓外科　泌尿器科
北川外科
平市新川町二七（電話四六四番）
醫學博士　北川芳夫
◎晝夜診療・入院隨時・血液檢査毎日

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉價に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

開業
一、産婦人科
一、外科一般
一、花柳病科
六月二十三日ヨリ診療ニ應ズ
小名濱町小學校前
黑澤醫院
醫學士　黑澤廣
電話四五番（元土井醫院跡）

内科　外科　一般
金成醫院
平市鍛冶町
金成忠義
電話三五八番

耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）